

## 2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年8月7日

上場会社名 コンドーテック株式会社  
 コード番号 7438 URL <http://www.kondotec.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 勝彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 安藤 朋也  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月8日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 06-6582-8441

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	13,613	9.5	891	23.6	928	24.2	628	27.3
2018年3月期第1四半期	12,433	5.7	721	7.3	747	3.7	493	3.3

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 569百万円 (5.4%) 2018年3月期第1四半期 540百万円 (23.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	23.50	23.43
2018年3月期第1四半期	18.45	18.37

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	38,921	24,991	64.1
2018年3月期	39,313	24,745	62.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 24,943百万円 2018年3月期 24,693百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		12.00		12.00	24.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		13.00		13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,136	5.8	1,805	8.4	1,857	8.5	1,257	10.3	46.98
通期	55,316	4.7	3,733	5.5	3,833	4.9	2,626	4.1	98.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	27,257,000 株	2018年3月期	27,957,000 株
期末自己株式数	2019年3月期1Q	486,091 株	2018年3月期	1,192,591 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	26,765,266 株	2018年3月期1Q	26,776,829 株

(注) 株式付与ESOP信託が保有する当社株式(2019年3月期1Q: 56,900株、2018年3月期: 56,900株)及び株式給付信託(BBT)が保有する当社株式(2019年3月期1Q: 145,800株、2018年3月期: 145,800株)を期末自己株式数に含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項につきましては、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、四半期決算の補足説明資料を作成しており、四半期決算発表後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より、日付の表示方法を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループ関連業界におきましては、住宅投資は弱含んでいるものの、設備投資や公共投資は底堅く推移しておりますが、一部には人手不足による物件の進捗遅れが解消されないなどの厳しい状況も存在しております。

このような状況のもとで、当社グループは自社製品の拡販、新規販売先の開拓や休眠客の掘り起こしなどの営業活動を展開するとともに、産業資材、鉄構資材、電設資材の各セグメントにおいて、商品調達機能の強化やユーザーニーズを的確にとらえた付加価値の高い製商品の開発・提供により事業拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は13,613百万円(前年同期比9.5%増)と増収になりました。

利益面につきましては、売上総利益率が横ばいとなり、販売費及び一般管理費の増加を増収効果で吸収した結果、営業利益は891百万円(同23.6%増)、経常利益は928百万円(同24.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は628百万円(同27.3%増)と増益になりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### <産業資材>

国内建設市場は、民間・公共工事ともに底堅く推移し、建築・土木関連商材であるコンテナバック、仮設足場部材、現場用品などの荷動きは良く、当セグメントの売上高は7,664百万円(前年同期比6.0%増)となりました。利益面につきましては、競合他社との受注競争が依然として厳しい状況にあるものの売上総利益率は横ばいとなり、販売費及び一般管理費の増加を増収効果で吸収した結果、セグメント利益は474百万円(同10.6%増)となりました。

#### <鉄構資材>

インバウンド向けの宿泊施設、物流倉庫や工場などの中低層物件の旺盛な需要を受け、鉄構資材の主要商材である鉄骨部材、アンカーボルト、ブレースなどが堅調に推移し、当セグメントの売上高は3,913百万円(前年同期比19.4%増)となりました。利益面につきましては、製造原価上昇分の販売価格への転嫁が進み、製品を中心に売上総利益率が改善したことに加え、販売費及び一般管理費の増加を増収効果で吸収した結果、セグメント利益は388百万円(同35.3%増)となりました。

#### <電設資材>

売電価格の低下に伴い太陽光発電設備関連の需要が減少したものの、工場などの高圧受電設備をはじめとする民間設備更新物件が堅調に推移し、当セグメントの売上高は2,035百万円(前年同期比5.6%増)となりました。利益面につきましては、競合他社との受注競争が依然として厳しい状況にあるものの売上総利益率は横ばいとなり、前期に創業50周年記念キャンペーン関連費用が発生した反動減等により当期の販売費及び一般管理費が減少した結果、セグメント利益は26百万円(同268.2%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末(39,313百万円)と比較して391百万円減少し、38,921百万円となりました。これは、商品調達機能のさらなる強化に伴うたな卸資産の増加等があったものの、法人税等の支払いによる現金及び預金の減少並びに売上債権の減少等を主因として、流動資産が92百万円減少したとともに、投資有価証券の時価の下落等を主因として、固定資産が299百万円減少したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末(14,567百万円)と比較して637百万円減少し、13,930百万円となりました。これは、仕入債務、未払法人税等及び賞与引当金の減少等を主因として、流動負債が570百万円減少したこと等によります。

純資産合計は、前連結会計年度末(24,745百万円)と比較して245百万円増加し、24,991百万円となりました。これは、剰余金の配当323百万円の支払いによる減少等があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益628百万円の計上による増加があったこと等によります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末(62.8%)比、1.3ポイント改善し、64.1%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績予想におきましては、2018年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」の発表時に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,893,136	9,554,731
受取手形及び売掛金	13,313,566	13,030,361
電子記録債権	1,218,400	1,249,093
商品及び製品	3,121,246	3,588,013
仕掛品	233,822	235,187
原材料及び貯蔵品	393,946	405,021
その他	431,697	446,909
貸倒引当金	△10,707	△6,311
流動資産合計	28,595,108	28,503,007
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,608,207	2,570,228
土地	6,138,100	6,111,800
その他（純額）	776,231	764,233
有形固定資産合計	9,522,539	9,446,262
無形固定資産		
その他	50,263	53,312
無形固定資産合計	50,263	53,312
投資その他の資産		
その他	1,162,181	935,992
貸倒引当金	△16,884	△16,737
投資その他の資産合計	1,145,296	919,255
固定資産合計	10,718,100	10,418,830
資産合計	39,313,208	38,921,837

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,285,287	3,280,816
電子記録債務	7,246,006	7,123,811
短期借入金	500,000	500,000
未払法人税等	642,092	194,477
賞与引当金	524,038	296,466
販売促進引当金	—	14,670
その他	920,711	1,137,392
流動負債合計	13,118,136	12,547,634
固定負債		
株式給付引当金	17,758	23,678
退職給付に係る負債	1,198,511	1,123,759
その他	232,969	235,036
固定負債合計	1,449,239	1,382,473
負債合計	14,567,376	13,930,108
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,666,485	2,666,485
資本剰余金	2,485,413	2,434,555
利益剰余金	21,760,388	21,579,343
自己株式	△970,535	△429,247
株主資本合計	25,941,751	26,251,136
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	309,554	228,373
繰延ヘッジ損益	△16,555	7,632
土地再評価差額金	△1,510,852	△1,510,852
為替換算調整勘定	16,933	10,051
退職給付に係る調整累計額	△47,495	△43,113
その他の包括利益累計額合計	△1,248,414	△1,307,908
新株予約権	52,494	48,500
非支配株主持分	0	0
純資産合計	24,745,831	24,991,729
負債純資産合計	39,313,208	38,921,837

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	12,433,160	13,613,485
売上原価	9,741,770	10,645,021
売上総利益	2,691,390	2,968,464
販売費及び一般管理費	1,969,764	2,076,884
営業利益	721,625	891,579
営業外収益		
受取利息	162	370
受取配当金	1,536	1,744
仕入割引	35,846	35,479
雑収入	9,616	19,210
営業外収益合計	47,161	56,806
営業外費用		
売上割引	13,844	14,525
支払利息	234	212
雑損失	7,381	5,507
営業外費用合計	21,460	20,245
経常利益	747,326	928,140
特別利益		
固定資産売却益	304	1,749
特別利益合計	304	1,749
特別損失		
固定資産除却損	14	0
特別損失合計	14	0
税金等調整前四半期純利益	747,616	929,890
法人税、住民税及び事業税	127,627	168,209
法人税等調整額	126,070	132,690
法人税等合計	253,698	300,899
四半期純利益	493,918	628,990
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	493,918	628,990

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	493,918	628,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,138	△81,180
繰延ヘッジ損益	19,954	24,187
為替換算調整勘定	2,988	△6,882
退職給付に係る調整額	9,098	4,381
その他の包括利益合計	46,178	△59,494
四半期包括利益	540,097	569,496
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	540,097	569,496
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年5月11日開催の取締役会決議に基づき、2018年6月1日付で、自己株式700,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金が50,858千円、利益剰余金が485,450千円、自己株式が536,308千円それぞれ減少しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	7,228,377	3,277,446	1,927,336	12,433,160	—	12,433,160
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	44,618	29,505	27,084	101,208	△101,208	—
計	7,272,995	3,306,952	1,954,420	12,534,369	△101,208	12,433,160
セグメント利益又は損失(△)	429,373	287,388	7,208	723,970	△2,344	721,625

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	7,664,706	3,913,593	2,035,186	13,613,485	—	13,613,485
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	100,215	25,837	10,754	136,807	△136,807	—
計	7,764,921	3,939,430	2,045,941	13,750,293	△136,807	13,613,485
セグメント利益又は損失(△)	474,845	388,734	26,542	890,122	1,457	891,579

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。